

## ポットハボタンの正月向け需要に対応した作型を開発

ポットハボタンの需要は、従来の11月に加え、12月中旬からの正月向けが高まっており、新たな需要に対応した作型の開発が求められていた。開発した作型は、8月15～25日のは種で12月中旬に葉数40枚以上、地上部生体重40g以上、株幅に占める着色部分の割合60%以上の高品質な商品を出荷でき、また、従来の作型に比べ育成期間を短縮できた。

### 内容

ポットハボタン生産は、主に花壇植栽用の需要に対応して、7月下旬～8月上旬には種し11月上旬～下旬に出荷する作型が一般的である。一方、12月中旬から正月向けの寄せ植えやアレンジ用の需要には、高品質商品の供給に課題があった。そこで、12月中旬に高品質な商品を出荷するため、新たな作型開発に取り組んだ。

品種は「ウインターチェリー」を供試し、288穴セルトレイに2009年8月5日から10月5日まで10日おきには種した。は種25日後頃（本葉4枚）に3号鉢に鉢上げし、12月19日に生育調査した。

葉数は8月15日のは種が最多となり、8月25日以降のは種では、は種日が遅くなるほど少なくなり、9月5日以降のは種では40枚以下となった（図1）。地上部生体重は、8月15日のは種が最大となり、8月25日以降のは種では、は種日が遅くなるほど小さくなった（データ略）。8月5日のは種では、下位

葉の黄変や落葉による地上部生体重の減少により品質が低下した（写真）。株幅に占める着色部分の割合（着色部率）は、8月15日のは種で最大となり、9月15日以降のは種で60%以下と低くなった（図1）。

以上の結果から、8月15～25日には種する新しい作型は12月中旬に高品質な商品を出荷でき、また、従来の作型に比べ育成期間を短縮することができた（図2）。なお、本作型の施肥時期と量は、鉢上げ4週間後に固形肥料（8-8-8）を1.5g/鉢、8週間後に0.8g/鉢とする。

### 今後の方針

12月中旬出荷に適した品種を選定する。また、年次による気象の影響を引き続き検討するとともに、産地へ技術を普及する。

水谷 祐一郎（農産園芸部）

（問い合わせ先 電話：0790 - 47 - 2424）

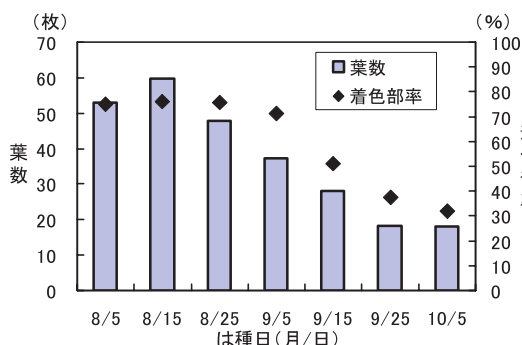


図1 は種日がポットハボタンの葉数及び着色部率に及ぼす影響（12月19日調査）  
着色部率：（着色部最大径 / 最大株幅 × 100）

は種日とポットハボタン（3号鉢）の生育（12月19日）

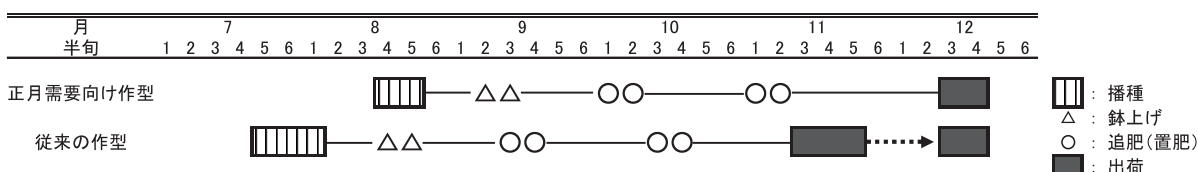


図2 ポットハボタンの生産の作型